

森林づくりに関するアンケート調査結果

林政課

1 調査目的

県では、「第3期森林づくり基本計画」（平成29～令和3年度）を策定し、「揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり」を基本理念として、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」、望ましい森林の姿への転換を目指す「100年先の森林づくり」に取り組んでいます。

令和3年度に第3期計画が終期を迎えることから、新たな基本計画策定の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター835人（うちインターネットモニター506人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和2年8月12日～8月31日

回収結果：715人（回収率85.6%）

その他：調査結果の構成比率はパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

3 結果概要

・森林に対するニーズについて

重要だと思う森林の役割について、「土砂災害の防止」（84.5%）、「二酸化炭素の吸収等による地球温暖化の防止」（78.7%）、「野生動植物の生息の場」（62.7%）と、森林のもつ公益的機能に関するものが上位3を占めている。

・荒廃した森林の手入れについて

森林の役割が十分果たせていない森林を今後どう管理したらよいかとの問いについて、「税金等により人やお金をかけて、積極的に手入れをしていく」が63.0%と最も高く、次いで「手入れする意欲のある人のみが、手入れをしていく」（13.3%）、「無理に手入れをしない」（8.4%）となっている。

・県民として協力できることについて

森林を守り育てるために、県民として協力できることは何かとの問いについて、「水源かん養機能や土砂災害の防止など森林の役割に対する理解」が66.5%と最も高く、次いで「森林づくり（間伐や下刈りなど）に対する税金による費用の負担」（48.5%）、「森林づくり活動（植樹活動のボランティアなど）への参加」（46.5%）の順となっている。

・森林づくりに関する重要な県の施策について

重要だと思う森林づくりに関する県の施策について、「台風や大雨に耐える「災害に強い森林づくり」」が79.0%と最も高く、次いで「水源地などを守るための「保安林」や「開発許可制度」」（46.5%）、「「管理されていない森林を市町村が管理する制度」の促進」（34.8%）の順となっている。

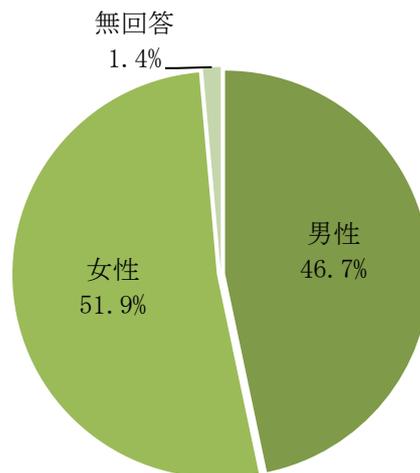
・林業の振興に関する重要な県の施策について

重要だと思う林業の振興に関する県の施策について、「林業を支える「技術者の育成・確保」」が56.7%と最も高く、次いで「住宅や公共施設における「県産材の利用」の拡大」（39.2%）、「森林と健康、観光、教育等が連携した「新たなサービス産業」の創出」（34.9%）の順となっている。

4 回答者属性

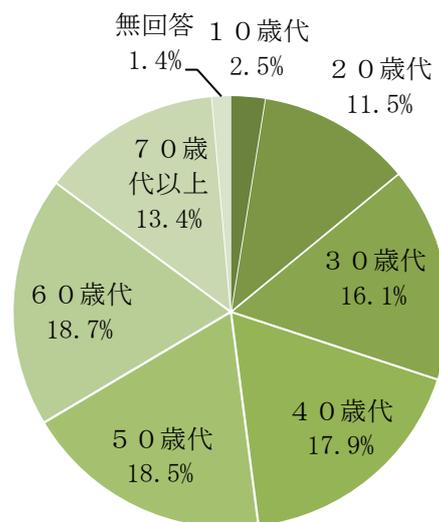
(1) 性別

	人数	割合
男性	334	46.7%
女性	371	51.9%
無回答	10	1.4%
合計	715	100.0%



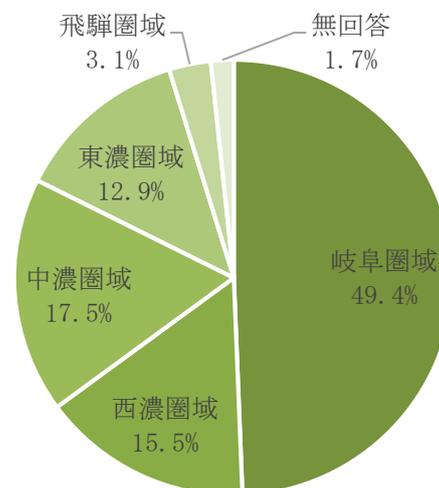
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	18	2.5%
20歳代	82	11.5%
30歳代	115	16.1%
40歳代	128	17.9%
50歳代	132	18.5%
60歳代	134	18.7%
70歳代以上	96	13.4%
無回答	10	1.4%
合計	715	100.0%



(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	353	49.4%
西濃圏域	111	15.5%
中濃圏域	125	17.5%
東濃圏域	92	12.9%
飛騨圏域	22	3.1%
無回答	12	1.7%
合計	715	100.0%

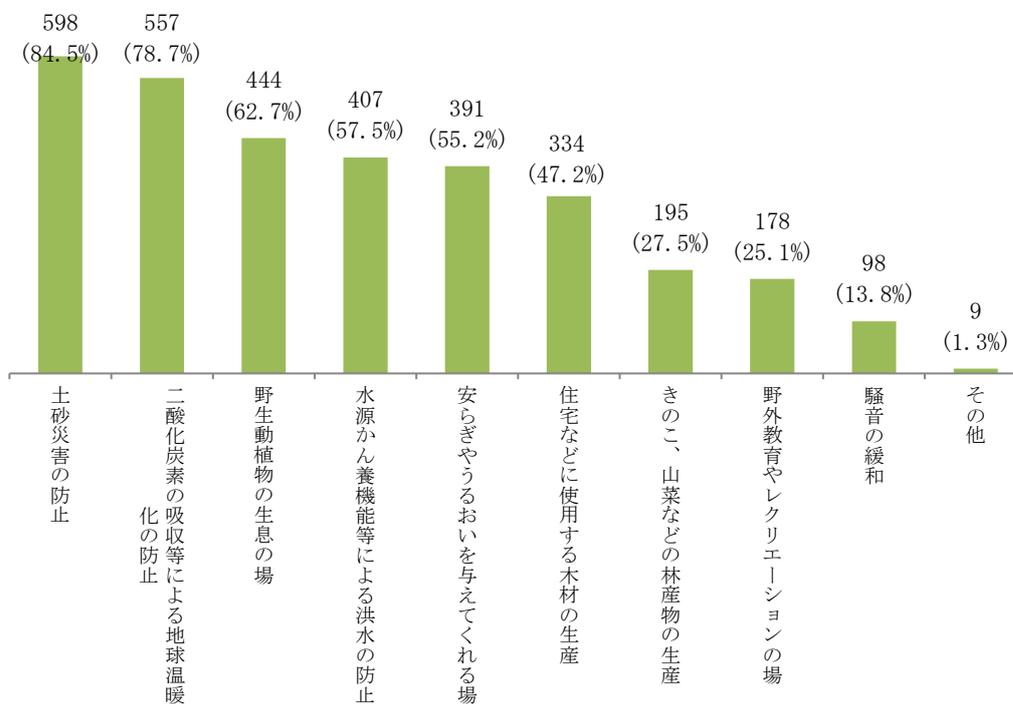


5 調査結果

問1 森林は私たちの暮らしにおいて様々な役割を担っていますが、あなたが重要だと思う森林の役割は何ですか。

(複数回答) (回答者708人/3,211件)

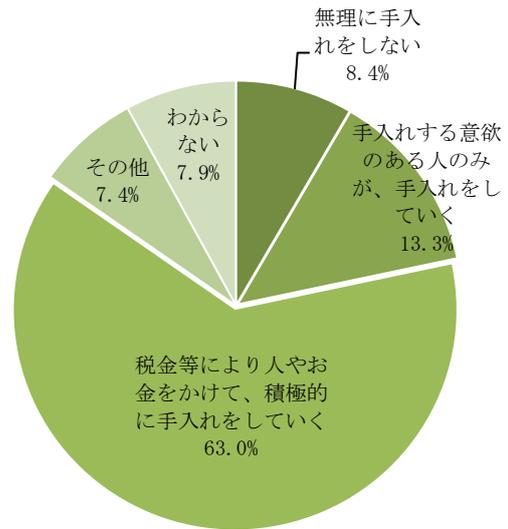
	人数	割合
土砂災害の防止	598	84.5%
二酸化炭素の吸収等による地球温暖化の防止	557	78.7%
野生動植物の生息の場	444	62.7%
水源かん養機能等による洪水の防止	407	57.5%
安らぎやうるおいを与えてくれる場	391	55.2%
住宅などに使用する木材の生産	334	47.2%
きのこ、山菜などの林産物の生産	195	27.5%
野外教育やレクリエーションの場	178	25.1%
騒音の緩和	98	13.8%
その他	9	1.3%
合計	3,211	



【その他】 生物多様性、生活の場 他

問2 林業の採算性の悪化などにより森林の手入れ(間伐や下刈りなど)がされず、問1にあげた役割が十分果たせていない森林があります。
 あなたは、こうした森林を今後どう管理したらよいと思いますか。
 (回答者692人)

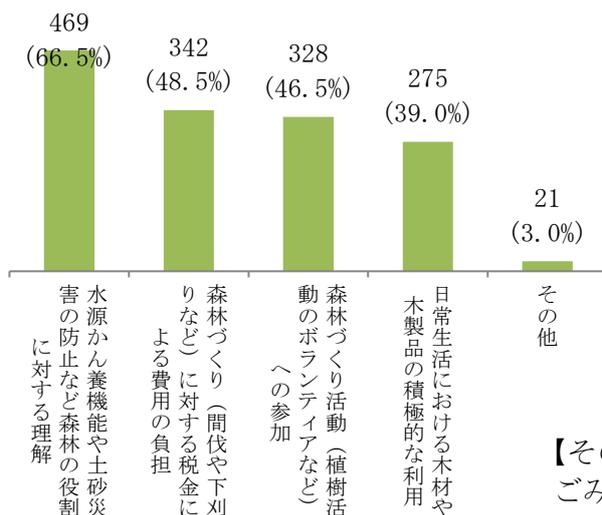
	人数	割合
無理に手入れをしない	58	8.4%
手入れする意欲のある人のみが、手入れをしていく	92	13.3%
税金等により人やお金をかけて、積極的に手入れをしていく	436	63.0%
その他	51	7.4%
わからない	55	7.9%
合計	692	100.0%



【その他】 ボランティアの有効活用、自然林へ戻す、管理できる人等への譲渡等 他

問3 あなたは森林を守り育てるために、県民として協力できることは何だと思いますか。
 (複数回答) (回答者705人/1,435件)

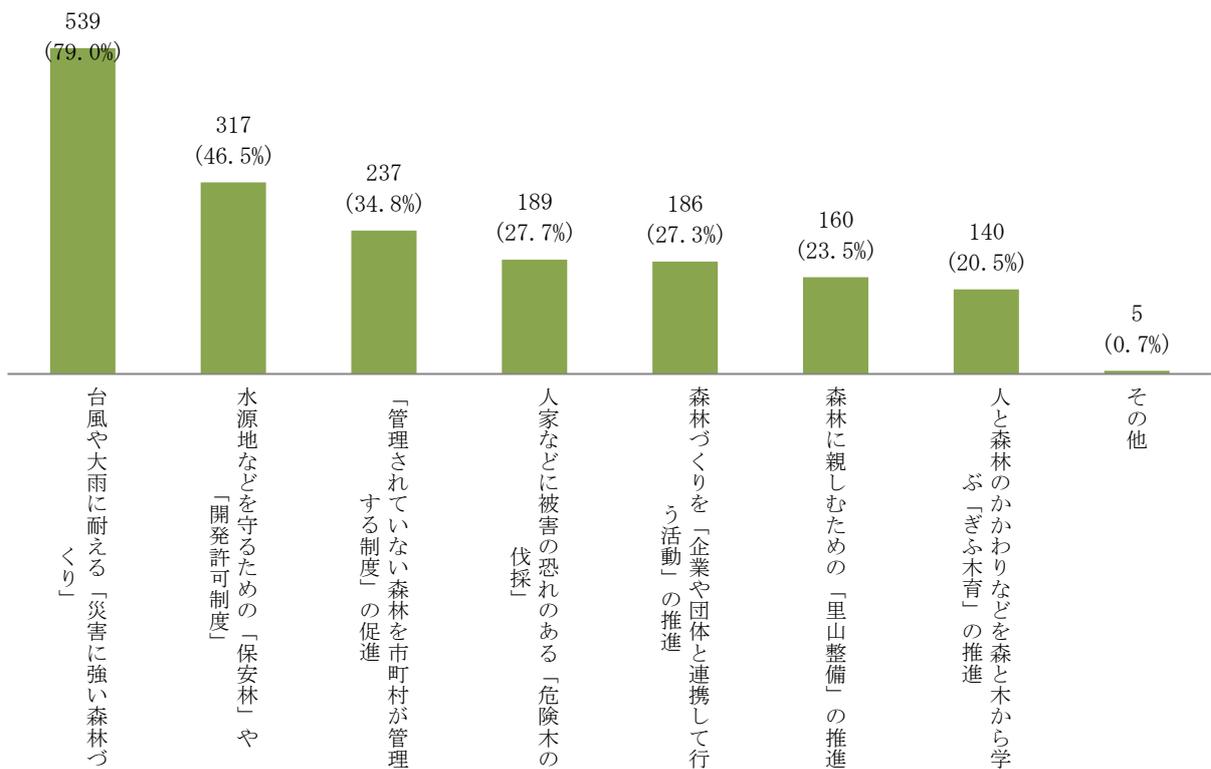
	人数	割合
水源かん養機能や土砂災害の防止など森林の役割に対する理解	469	66.5%
森林づくり(間伐や下刈りなど)に対する税金による費用の負担	342	48.5%
森林づくり活動(植樹活動のボランティアなど)への参加	328	46.5%
日常生活における木材や木製品の積極的な利用	275	39.0%
その他	21	3.0%
合計	1435	



【その他】 ごみ拾い、大切さ・楽しさを次世代に伝える 他

問4 県が行う森林づくりに関する施策として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
 (複数回答) (回答者682人/1,773件)

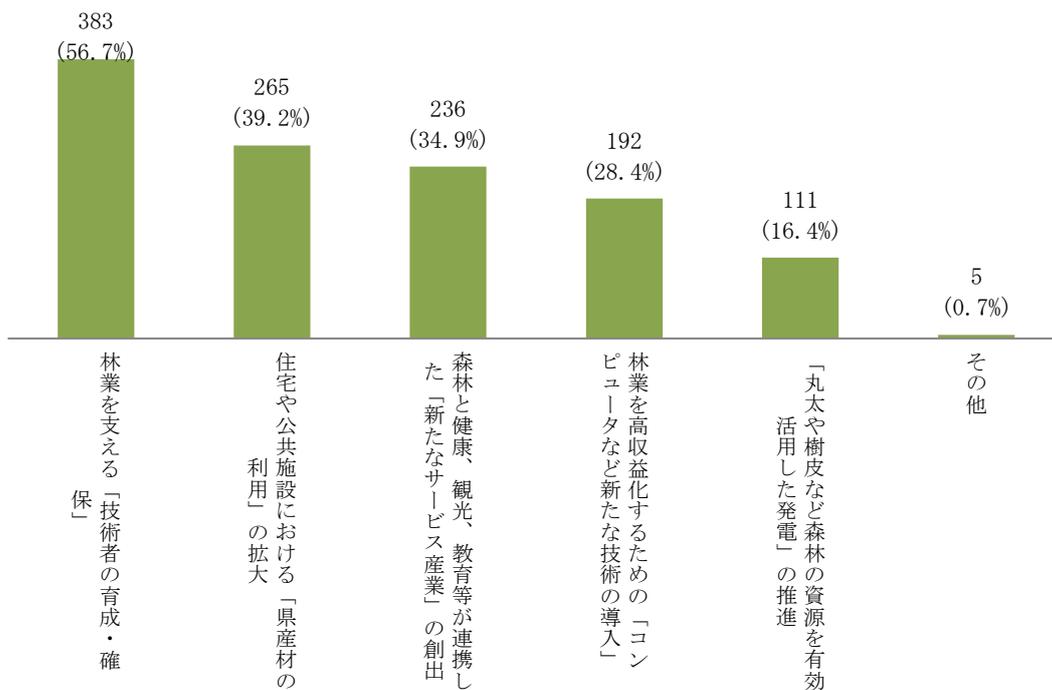
	人数	割合
台風や大雨に耐える「災害に強い森林づくり」	539	79.0%
水源地などを守るための「保安林」や「開発許可制度」	317	46.5%
「管理されていない森林を市町村が管理する制度」の促進	237	34.8%
人家などに被害の恐れのある「危険木の伐採」	189	27.7%
森林づくりを「企業や団体と連携して行う活動」の推進	186	27.3%
森林に親しむための「里山整備」の推進	160	23.5%
人と森林のかかわりなどを森と木から学ぶ「ぎふ木育」の推進	140	20.5%
その他	5	0.7%
合計	1,773	



【その他】 倒木の撤去 他

問5 県が行う林業の振興に関する施策として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。
 (複数回答) (回答者676人/1,192件)

	人数	割合
林業を支える「技術者の育成・確保」	383	56.7%
住宅や公共施設における「県産材の利用」の拡大	265	39.2%
森林と健康、観光、教育等が連携した「新たなサービス産業」の創出	236	34.9%
林業を高収益化するための「コンピュータなど新たな技術の導入」	192	28.4%
「丸太や樹皮など森林の資源を有効活用した発電」の推進	111	16.4%
その他	5	0.7%
合計	1,192	



【その他】 県産の木材を使用した二次加工品の開発促進 他

問6 その他、森林づくりに関するご意見がありましたら、お聞かせください。

【主な意見】

(森林の放置、開発について)

- ・ 開発も大切だと思うが森林の維持、保全に力を入れ、野生動物の生息できる環境を整えたい。森林には野生動物、植物が生息し、里には人が住むこの大切なループを岐阜のアピールにしたい。
- ・ 森林の荒廃が進み、災害の引き金になっていることが多くなっていると思う。大水の時に木々が流され被害が増している。公的に森林を守る仕組みの強化が必要だと思う。

(人的・経済的支援について)

- ・ なかなか森林の手入れも大変で山を持っている人の高齢化が進み、手入れができない家が多いのも現実なので、そこが問題なのかもしれない。
- ・ 木材の不足もあって長年の間、植林を進めて来たが、植林の面積も多くなり、これ以上植林する必要はなく、間伐に手が届かなくなっている。木材の価格も安く経費も出ません。高齢で山へ行く事も出来ず困っている。
- ・ 森林は大切なことは理解できるがボランティアの活用等でその地区にあった活用を考える。

(教育、普及・啓発について)

- ・ 「森林づくり」についてこれまで全く考えたことがなかった。このアンケートに答えることで、初めて考え、意識した。このような問題提起を子供から大人まで継続的にしていくことは大切だと思う。森林づくりを考えることは、環境について考えることになり、そうするとそれに付随する様々な問題についても興味を持つようになると思う。
- ・ やはり10年後100年後のあるべき姿を示し、その為には何をしなければいけないのかを県民一人一人に意識させ共有する。

(木材利用について)

- ・ 木を利用してすばらしい物作りをできる人はお見かけする。そういう方に協力いただいて木材の利用を色々な方に興味がわくような製品に結びつけられたら。
- ・ 岐阜県は、豊富な木材資源があると思うが、林業従事者含めて、事業性については弱いと思う。木材の新たな利活用の方法等が開発されて、林業関係者が充実されることを期待する。林業が林業として成り立つ仕組みが欲しい。

(後継者の育成について)

- ・ 林業を支える従事者を増やすことが急務。林業に転職する方へ支度金や準備金を用意することも考えてみては。
- ・ 森林作りは長い年月が必要。そのためには後継者の育成が大切。森林アカデミーなど、岐阜県としての取り組みはされているが、継続的な施策が必要。そのためには、税金が使われることになっても良いと考える。

(その他)

- ・ 森林にはハード面はもちろん、セラピー効果のようなソフト面もある。本当に奥が深い大切に守っていかなければならないものだと思う。
- ・ 山を所有していても、手入れする術も知識もなく、放置している。荒れているかどうかもわからない。こういった山は沢山あると思う。
- ・ 花粉症の原因となる樹木の伐採・管理の強化
- ・ 獣害等の問題も含めての対策を必要とする。